

「熱波が30倍」って本当か？

関連資料 https://cigs.canon/article/20250423_8827.html
https://cigs.canon/article/20250402_8762.html
https://cigs.canon/article/20250306_8676.html
<https://agora-web.jp/archives/250510000747.html>

#	災害・現象（発生年）	報道された“〇倍”	報道媒体／見出し抜粋	参照元
1	北米・太平洋岸北西部熱波（2021年6-7月）	150 倍起こりやすく	Gizmodo Japan「北米の熱波、調べたら150倍も起こりやすくなっていました」	GIZMODO JAPAN（ギズモード・ジャパン）
2	同熱波（補足）	〃 150 倍	MIT Tech Review [日本語版]「記録破りの熱波は気候変動が原因、研究者らが結論」	MITテクノロジーレビュー
3	西欧（独・ベルギーなど）洪水（2021年7月）	1.2～9 倍に確率上昇	CNN.co.jp「ドイツ大洪水、気候変動で確率が最大9倍に上昇」	CNN.co.jp
4	インド・パキスタン熱波（2024年春）	30 倍起こりやすく	TBS/AP通信記事「記録的熱波が産業革命以前に比べ30倍起こりやすく」	TBS NEWS DIG
5	西日本豪雨（2018年7月）	発生確率3.3 倍	朝日新聞「西日本豪雨と同規模の大 雨、温暖化で発生確率3.3倍に」	朝日新聞
	九州北部豪雨（2017年7月）	発生確率1.5 倍	（同上記事内で同時報道）	朝日新聞
6	ハリケーン・ハーヴィー豪雨（米国・2017年）	発生確率3 倍	日本語解説サイト JEIJC「ハリケーンハーヴィー...記録的な雨量、発生確率3倍に増加」	一般社団法人日本エンカル推進協議会(JEI)

xxがxx倍

xxがxx倍！

年・現象	報道された倍率・増加率	媒体（見出し抜粋）
2024 ハリケーン「ヘリーン」級	起きやすさ 2.5 倍	朝日新聞「大型ハリケーン『ヘリーン』級、気候変動で起きやすさ2.5倍に」 朝日新聞
2024 ハリケーン・ミルトン	同規模嵐の発生確率 2 倍／メキシコ湾の記録的高水温は 400–800 倍 起きやすく	ロイター日本語「ミルトンの強大化、人為的気候変動の影響」 Reuters Japan
2022 ハリケーン・イアン	降雨量が 8–11 % 増大（Nature Communications 論文を引用）	ロイター日本語「年々威力増すハリケーン、気候変動の影響を読み解く」 Reuters Japan
2019 台風19号（令和元年東日本台風／ハギビス）	発生確率 1.67 倍（+67 %）	朝日新聞「発生確率が1.67倍に」 朝日新聞 ／毎日新聞も同値を報道 毎日新聞
	経済被害 +40 億ドル（温暖化が押し上げ）	WWA日本語プレスリリース worldweatherattribution.org
	総降水量 +11～14 %	気象庁気象研究所プレスリリース 気象庁 MRI

イベントアトリビューション (事象帰属)研究の手順

熊谷で41°C！ といったニュースが出ると、

- ① シミュレーションで、人類のCO2排出が**有った場合**に、熊谷で41°Cを超える頻度をしらべる(A)
- ② シミュレーションで、人類のCO2排出が**無かった場合**に、熊谷で41°Cを超える頻度をしらべる(B)
- ③ $A \div B$ で、猛暑が「何倍」になったかを求める。。。

気候詐欺のテクニック

- 1 統計を無視
- 2 当たらないシミュレーションの利用
- 3 バスケットシューズ詐欺



図 2.4-3 「強い」以上の勢力となった台風の発生数と全発生数に対する割合の経年変化

細い実線は、「強い」以上の勢力となった台風の発生数（青）と全台風に対する割合（赤）の経年変化。太い実線は、それぞれの5年移動平均。

出典： 気象庁、気候変動監視レポート2018

https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/monitor/2018/pdf/ccmr2018_all.pdf

統計・・・台風は強くなっていない

なぜ「その台風だけ」強くなったのか？
（変でしょう！）

図表 9 IPCC がまとめた「事象の発現時期」

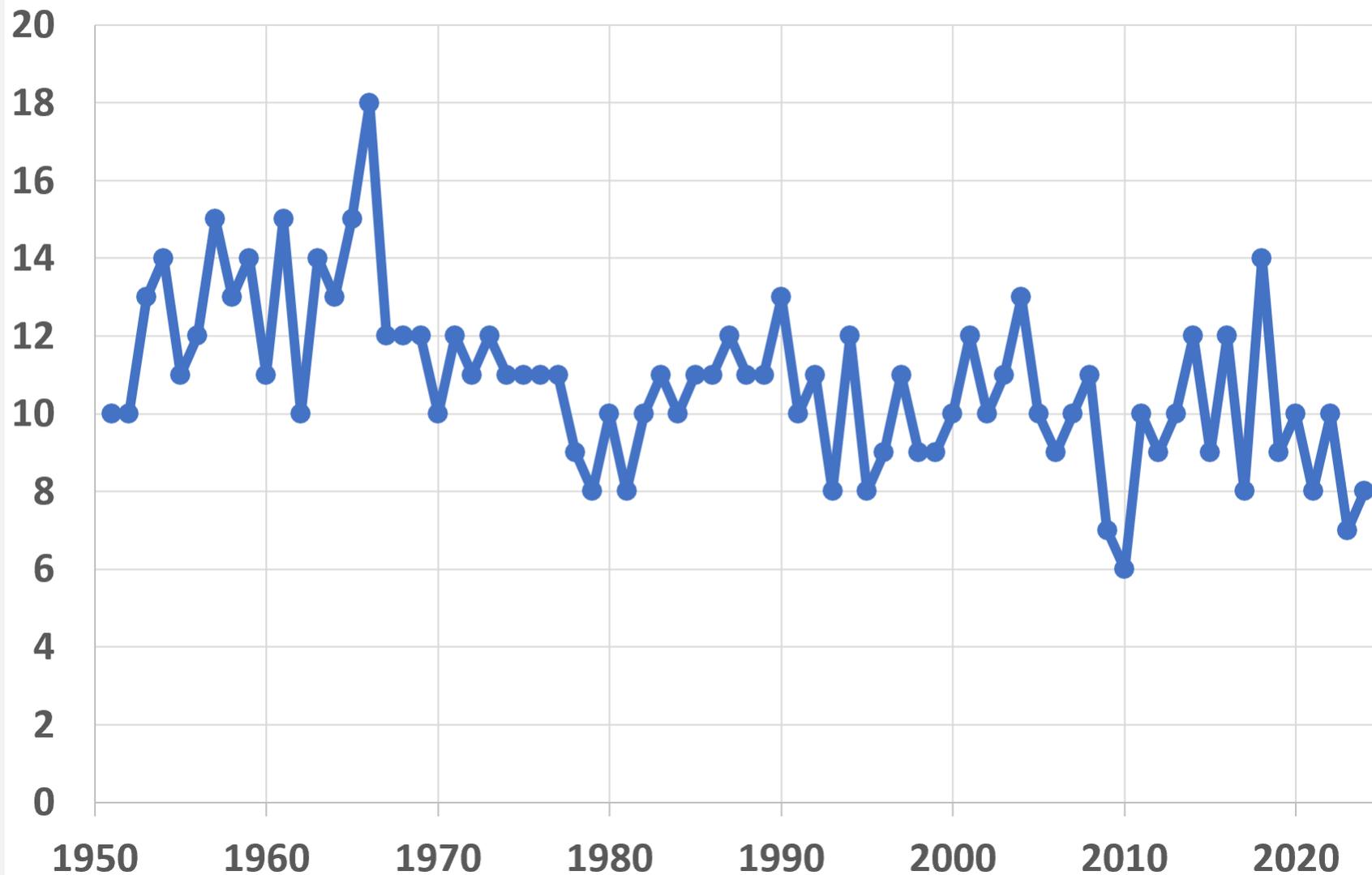
発現時期	2020年以前	2020～2050年	2050～2100年	2100年以降
暑さと寒さ	平均気温			
	猛暑			
	寒波			
湿りと乾燥		平均雨量		霜
				河川の洪水
			大雨と内水氾濫	
				地滑り
				干ばつ(全種類)
				水文学的干ばつ
				農業及び生態系の干ばつ
				山火事をもたらす気象
風				平均風速
				暴風
				熱帯低気圧
				砂嵐と砂塵嵐

IPCCは
災害激甚化は
「起きていない」か
「誤差の内」だ
と言っている！

オール政府が流す災害激甚化フェイク

公式文書（公表・決定年月）	公開元	リンク	該当頁・章節	抜粋
地球温暖化対策計画（令和7〈2025〉年2月18日閣議決定／最新版）	環境省	https://www.env.go.jp/content/000291669.pdf	p.1-2 「はじめに」	「…世界の平均気温は工業化前比約1.55 °C上昇し、 異常高温や気象災害等が多発している 。我が国でも年平均気温の上昇が世界平均を上回り、真夏日・猛暑日が増加しているほか、 大雨や短時間強雨の発生頻度が増加し 、高温による農作物の品質低下など様々な影響が既に顕在化している…」
令和5年版 防災白書（2023年6月 内閣府提出）	内閣府	https://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/r05/honbun/t1_2s_01_00.html	特集1 第2章 第1節	「近年では令和元年東日本台風、令和2年7月豪雨などによる大きな被害が相次いだ。平均気温の上昇や 大雨の頻度の増加など、自然災害の激甚化・頻発化が全国各地で現れており 、我が国にとって重要な課題である…」（ 防災情報提供センター ）
GX実現に向けた基本方針（GX実行計画）（令和5〈2023〉年2月1日閣議決定）	内閣官房	https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/gx_jikkou_kaiji/pdf/kihon.pdf	p.1 「はじめに」	「 世界規模で異常気象が発生し、大規模な自然災害が増加する など、気候変動問題への対応は人類共通の課題となっている…。2030年度温室効果ガス46%削減、2050年カーボンニュートラル達成に向け、国家を挙げて対応する強い決意を表明する…」
国土交通白書 2022（2022年7月 国会提出）	国土交通省	https://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/r03/hakusyo/r04/pdf/np100000.pdf	序章 p.4-5	「… 近年、異常気象は激甚化・頻発化しており、水害・土砂災害等をもたらす豪雨では雨の強度や頻度が増加している 。1日の降水量200 mm以上の日数は1901年以降で有意に増加し、短時間強雨の発生頻度も約1.4倍に増加した…」
国土強靱化基本計画（変更）（令和5〈2023〉年7月28日閣議決定）	内閣官房	https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyoujinka/pdf/kk-honbun-r057028.pdf	p.2, 5	「計画見直しに当たり考慮すべき事項として、 自然災害の発生頻度や被害の甚大さが増大している現状 を踏まえ、事前防災・減災の取組を一層強化する必要がある…」
令和5年版 農林水産白書（2024年5月30日公表）	農林水産省	https://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/r5/r5_h/trend/part1/chap6/c6_3_00.html	第1部6章3節	「 我が国では、災害が頻発し 、災害時の食に備えることが急務となっている…。家庭備蓄の定着に向けローリングストックの普及や要配慮者向け備蓄食品の開発を推進する…」（ 農林水産省 ）
令和4年度 森林・林業白書（2023年5月30日公表）	林野庁	https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakusyo/r4hakusyo_h/all/tokusyu3_2.html	第1部 特集3節	「 近年の気候変動に伴う大雨の激化・頻発化により、山地災害が激甚化 するとともに発生形態も変化しつつある。平成29年九州北部豪雨や令和元年東日本台風などでは流木災害や土石流の多発が顕著となった…」（ 林野庁 ）

「強い」以上の台風の発生数（1951-2024）



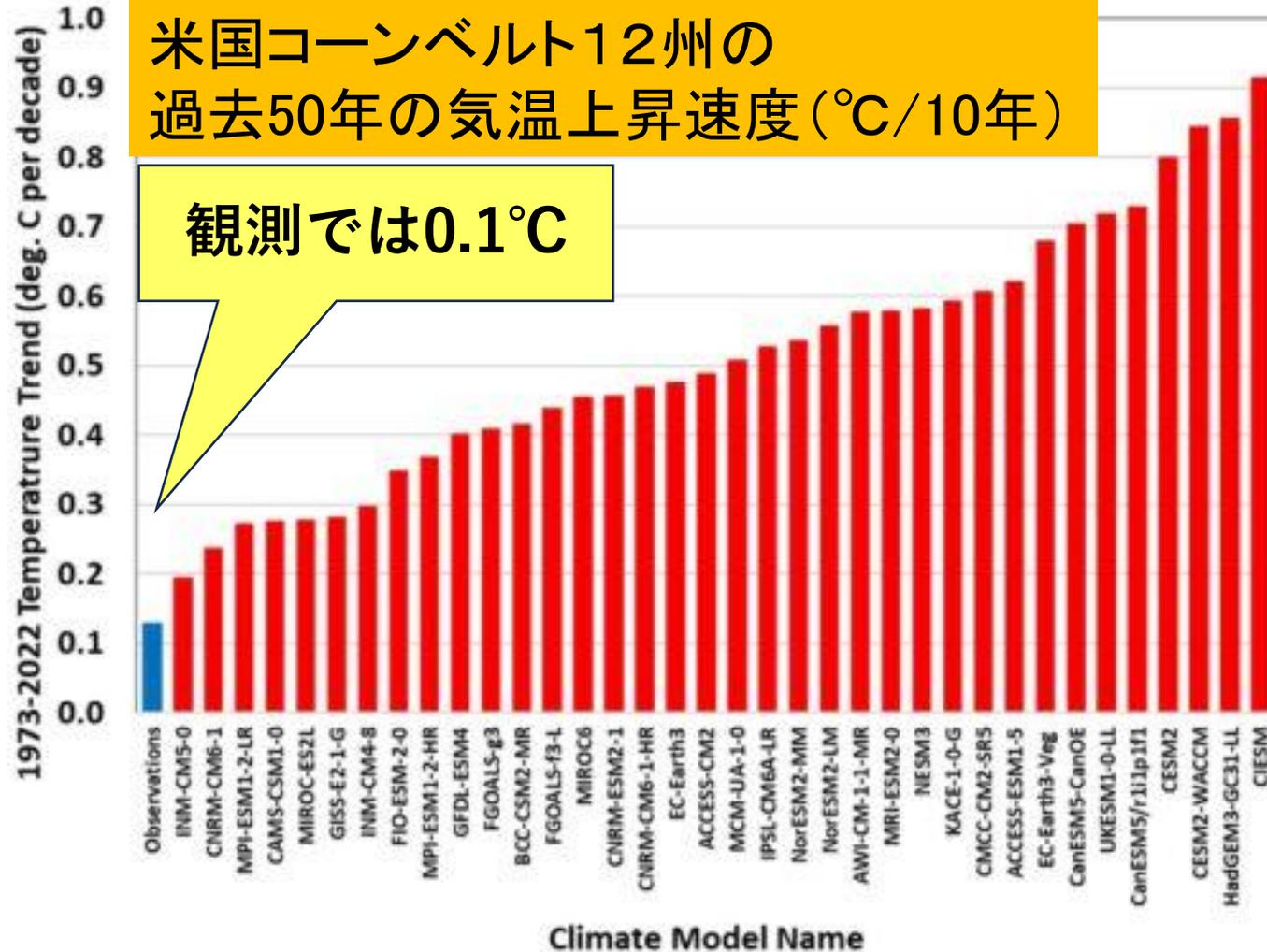
実は台風は
弱くなった

気候詐欺のテクニック

- 1 統計を無視
- 2 当たらないシミュレーションの利用
- 3 バスケットシューズ詐欺

暑くなりすぎるシミュレーション

The observed 12-state U.S. Corn Belt summer temperature trend (1973-2022) is considerably less than that produced by all 36 climate models used to promote changes in U.S. energy policy.



米国コーンベルト12州の
過去50年の気温上昇速度(°C/10年)

観測では0.1°C

シミュレーションでは0.9°Cも！

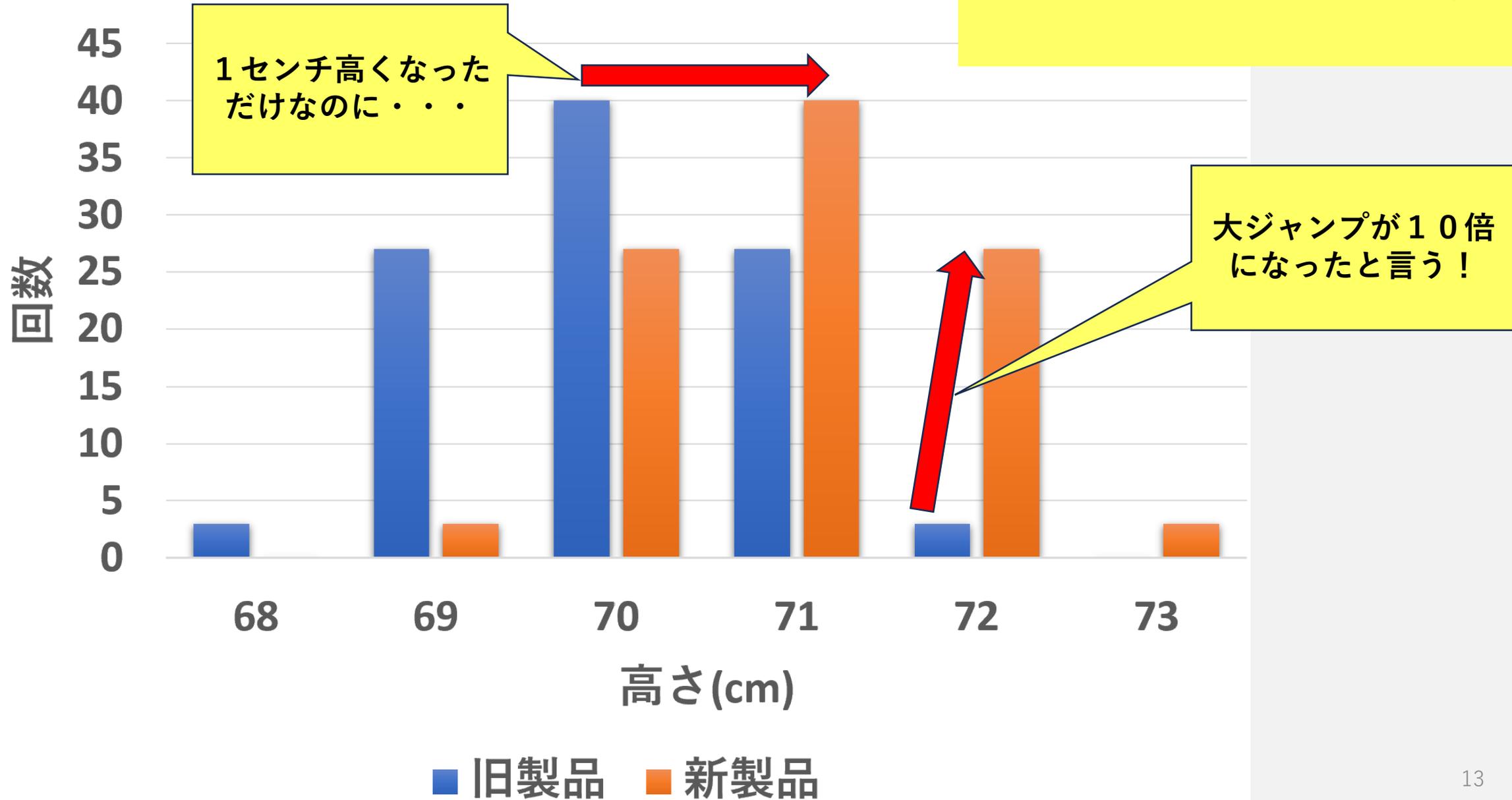
これでxx倍と
言われても・・・
(信用不可)

気候詐欺のテクニック

- 1 統計を無視
- 2 当たらないシミュレーションの利用
- 3 バスケットシューズ詐欺

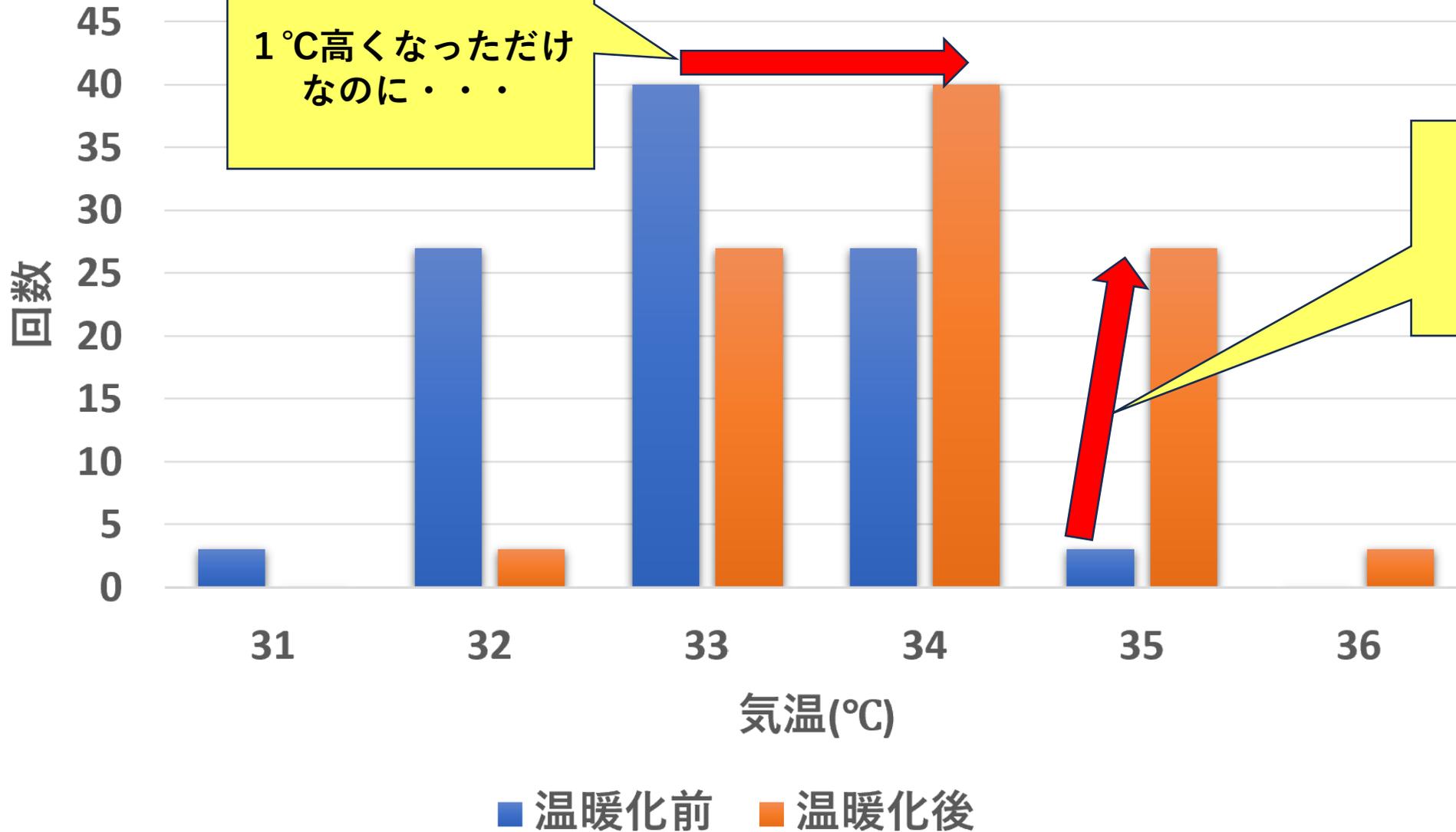
垂直飛び記録

バスケットシューズ詐欺



「熱波が10倍」気候詐欺

最高気温の記録



1°C高くなっただけなのに・・・

熱波が10倍になったと言う！

イベントアトリビューションの問題点

- 1 統計に反する主張。
- 2 不正確なシミュレーションに依存。
- 3 僅かな変化を殊更に大袈裟に。



<https://www.amazon.co.jp/dp/4485301257/>